

## 社会学部報

### ◇講演会

- 1988年10月21日 講演者 マーク・モーリス博士（フランス国立学術研究センター・労働の社会学・経済学研究所主任研究員）  
演題「日佛における工場社会組織構造の違い」  
通訳 中野秀一郎教授

### ◇学部研究会

- 1989年1月12日（特別例会）発表者 イーデス・ハンソン氏（アムネスティ・インターナショナル日本支部長）  
「アムネスティ活動の現状」
- 1989年1月19日 発表者 デビット・スミス  
本学部客員教授（カナダ・ヨーク大学助教授）  
「国際コンピュータネットワーク（BITNET）を利用した社会科学の国際共同研究の可能性について」  
通訳 立木茂雄専任講師

### ◇会員の新著

- 鳥越皓之教授（著書）『沖縄ハワイ移民一世の記録』1988年11月 中央公論社
- 浅野仁教授（共著）『社会福祉士養成講座第二巻——老人福祉論——』1989年1月 中央法規出版
- 浅野仁教授（共著）『明日の老人ホーム像を求めて』1988年11月 全国社会福祉協議会

### ◇海外出張

- 真鍋一史教授 1988年11月20日から11月25日まで、「中国の対日イメージと日本の対中イメージの比較研究に関する調査打ち合せ」のため、中国へ。
- 山路勝彦教授 1988年12月9日から1989年1月8日まで、「文部省科研費による海外調査」のため、台湾へ。
- 萬成博教授 1989年2月26日から3月31日まで、「中山大学において招待講義及び学術講演を行う」ため、中国へ。

### ◇社会学部人権問題研修会

- 1988年12月7日（水） 発題者 番町出会いの家伝道所・鳥飼慶陽牧師  
題目「賀川豊彦と現状」

## 学会消息

### ◇日本出版学会

本年度の日本出版学会秋季研究集会は、1988年11月26日(土)、大阪市立中央図書館で開催された。今回は公開講演会の形をとり、「近世上方の子ども絵本」のテーマで肥田皓三氏(関西大学教授)が、「現代の子どもの本」について鳥越信氏(大阪国際児童文学館総括専門員)が、それぞれの立場から興味深い講演をおこなった。本学部からは津金沢聡広教授と芝田正夫助教授が参加した。秋季研究集会は、関西在住の会員が中心となり、毎年京阪神地区を会場にして開催されている。

### ◇日本教育心理学会

日本教育心理学会第30回大会は、1988年11月24日から26日まで、鳴戸教育大学にて開催された。本学からは研究発表において、田中国夫、井上和子、大前 衛、田淵 創、岩淵千明、広沢俊宗各氏らの共同研究による、「神戸市民の研究」が発表された。発表者は次の通りである。

- 神戸市民の研究 [9] —教育意識(1)—  
田淵 創
- 神戸市民の研究 [10] —教育意識(2)—  
広沢 俊宗
- 神戸市民の研究 [11] —教育意識(3)—  
田中 国夫

また、井上和子氏により、「友人関係における親しさの程度とEquity」が発表された。

### ◇日本新聞学会

日本新聞学会1988年秋季研究発表会は、1988年11月12日(土)、茅ヶ崎市の文教大学湘南校舎で開催された。個人研究発表、ワークショップのほか、李相禧氏および崔彰鳳氏(ともにソウル大学)による特別報告「韓国の放送と新聞の日本関連報道内容分析研究」が行われた。ワークショップでは「菊竹六鼓論」「情報学の構築—社会情報の研究方法」など10のテーマで討論された。本学部からは津金沢聡広教授と芝田正夫助教授が参加した。芝田助教授はワークショップ「出版の電子化」の司会を担当した。

### ◇日本広告学会

日本広告学会第19回全国大会が1988年11月11日と12日の両日、亜細亜大学において開催された。本学からは真鍋一史教授が出席し、「自由論題」の部会で「消費者行動と広告—日米のスーパーマーケットをめぐる国際比較—」と題する研究発表を、また「学会研究プロジェクト」の部会で関西大学の中農晶三教授、朝日広告社の西本浩三氏とともに「地方イベントと広告—瀬戸大橋博'88(四国)(岡山)と北摂・丹波の祭典ホロンピア'88(兵庫)に関する事例研究—」と題する共同研究の成果を報告した。

執筆者紹介 (掲載順)

小 関 藤 一 郎	名 譽 会 員	倉 田 和 四 生	関 西 学 院 大 学 教 授
高 田 真 治	関 西 学 院 大 学 教 授	真 鍋 一 史	関 西 学 院 大 学 教 授
牧 正 英	関 西 学 院 大 学 教 授	森 木 和 美	大 学 院 社 会 学 研 究 科
山 本 剛 郎	関 西 学 院 大 学 教 授		博 士 課 程 前 期 課 程

社会学部研究会々員

会 長	遠 藤 惣 一								
評 議 員	杉 山 貞 夫	牧 正 英	津 金 沢 聡 広						
	春 名 純 人	高 田 真 治	对 馬 路 人						
会 計 監 査	佐々木 薫	宮 田 満 雄							
書 記	岡 部 衛 一 郎								
名 譽 会 員	青 山 秀 夫	藤 原 恵	本 出 祐 之						
	小 関 藤 一 郎	岡 村 重 夫	嶋 田 津 矢 子						
	杉 原 方	清 水 盛 光	枋 原 知 雄						
	( A B C 順 )								
普 通 会 員	田 中 國 夫	西 尾 朗	定 平 元 四 良						
	萬 成 博	領 家 穰	倉 田 和 四 生						
	半 田 一 吉	武 田 建	森 川 甫						
	中 野 秀 一 郎	張 光 夫	中 山 慶 一 郎						
	J.A. ジョイス	船 本 弘 毅	紺 田 千 登 史						
	村 川 満	西 山 美 瑳 子	安 田 三 郎						
	真 鍋 一 史	山 路 勝 彦	山 本 剛 郎						
	鳥 越 皓 之	荒 川 義 子	安 藤 文 四 郎						
	浅 野 仁	高 坂 健 次 夫	芝 田 正 夫						
	芝 野 松 次 郎	中 西 良 夫	立 木 茂 雄						
	宮 原 浩 二 郎	正 村 俊 之							

## 関西学院大学社会学部研究会会則

- 第1条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。
- 第2条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の交流を計ることを目的とする。
- 第3条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
  - 2 研究会および講演会の開催。
  - 3 研究叢書の刊行。
  - 4 その他本会の必要と認める事業。
- 第4条 本会の会員は次の3種とする。
- 1 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
  - 2 普通会員 本会社会学部専任の教授、助教授、講師および助手。
  - 3 賛助会員 以上の外申込のあったもの。
- 第5条 普通会員は年額19,200円、賛助会員は年額10,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。
- 第6条 本会員および本会社会学部大学院生・学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の講読費は昭和56年度入学生より年額1,600円とする。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
- 1 会長（1名）は、社会学部長をもってあてる。
  - 2 評議員（6名）は、普通会員の中から互選し、本会の運営に当る。
  - 3 編集、会計、庶務の各委員は、評議員の中から互選する。
  - 4 会計監査（2名）は、普通会員の中から互選する。
  - 5 書記は、社会学部事務長に委嘱する。
- 第8条 本会役員任期は2年とする。重任を妨げない。
- 第9条 本会会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。予算・決算は総会の承認を得なければならない。
- 第10条 総会は年1回とし、本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。
- 第11条 本会は事務所を本会社会学部におく。
- 第12条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

<編集後記>

「社会学部紀要59号」をお届けいたします。本号は定平元四郎教授の定年退職記念号とさせていただきます。先生の永年に亙るご指導を心から感謝申し上げますとともに、ご健康を切にお祈りいたします。

今年度は定平教授と西尾教授、お二人を定年退職でお送りすることになりました。そこで今回は、58号と59号を同時に発行することにし、誕生日によって、先にお生れの西尾先生の記念号を58号、定平先生の記念号を59号とさせていただきました。

今回はたくさんの方の論文を提出いただきましたが、これらを紀要の編集にあたっております研究会評議員会の責任で2号に振り分けさせていただきました。また、報告や消息などについても2号にわたっております。ご了解ください。

煩雑な編集の実務は、篠崎陽一事務主任をはじめ事務室の皆さんにとっ  
ていただきました。感謝いたします。(高田)

1989年3月10日 印刷

1989年3月20日 発行

編集発行人 遠藤 惣一

発行所 関西学院大学社会学部研究会  
〒662 西宮市上ヶ原一番町  
関西学院大学社会学部内  
電話(0798)(53)6111(代表)  
(内線) 4212

印刷所 尼崎印刷株式会社  
〒660 尼崎市北大物町16-55  
電話 (06)481-0707(代)

**KWANSEI GAKUIN**

**SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES**

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

---

No. 59

March 1989

---

---

The Study Association of Sociology Department

**KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY**

Nishinomiya, Japan

---